

製品名: HOPX ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85669**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 8 kDa; Observed MW: 12 kDa

抗原情報

遺伝子名	HOPX
別名	Hod; Hop; Ob1; Obl; Hdop; Toto; Cameo; AI848177; AW490897; 1110018K11Rik; 1200015P04Rik; 2300002F06Rik
遺伝子 ID	74318.0
SwissProt ID	Q8R1H0
免疫原	マウス HOPX の組み換えタンパク質

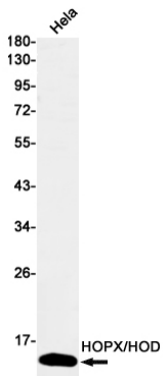
背景

DNAに結合せず、心臓の成長と発達の調節に必要な非定型ホメオドメインタンパク質。SRFとの相互作用を介して作用し、SRF依存性の心臓特異的遺伝子の発現と心臓の発達を調節する。SRFのDNAへの結合を阻害するか、SRFによる転写を阻害するヒストン脱アセチル化酵素 (HDAC) タンパク質をリクルートすることにより、SRF依存性の転写を阻害する。過剰発現は心臓肥大を引き起こす (PubMed:12297045、PubMed:12297046)。HSPA1A および HSPA1B シャペロンタンパク質のコシャペロンとして作用し、シャペロンを介したタンパク質のリフォールディングを促進する。

研究分野

-

画像データ



HOPX 抗体を使用した HeLa 溶解物中の HOPX/HOD のウェスタン ブロット分析。